

大分県林業研修所 将来ビジョンについて

施設の今後のあり方

**存続
(利活用)**

林業の生産性を高め、循環型林業を担う人材を育成するため、林業就業者に必要な技術研修を行うとともに、林業に触れる場の提供など新規就業者の確保に努めることで、林業就業者の技術向上や就業支援まで一体的に取り組む。

目指すべき 施設像

- ①資格の取得、特別教育・安全教育や技能講習を受講でき、林業就業者の確保・育成を行う施設
- ②林業を学び、チェーンソーなどの基本的な機械や作業に触れ、林業の魅力を感じることができる施設

目指すべき 利用者像

- ①生産性の向上や安全作業の徹底を目指す林業就業者
- ②高校生やU I J ターン者など、林業への興味関心がある方や就業を考えている方

定量的目標 達成指標

- ①研修受講延べ人数の増
R5～R7 3,900人／年
R8～R14 4,000人／年（過去4年平均：3,396人／年）
（参考R6実績：4,240人／年）
- ②研修満足度の維持
※研修満足度（5点制）
R5～R7 98%
R8～R14 4.8 （過去4年平均：4.87）

定性的目標 達成指標

- ①利用者及び主催者の満足度を向上させるため、研修項目の見直しや施設・機械の機能充実に取り組む。
- ②実技研修の充実を図るため、常設的な林業研修フィールドを確保する。
- ③新規就業者確保のため、高校生やU I J ターン者などに対する広報活動や体験研修等を充実させる。

主な課題と解決策

【課題】

- ①人口減少に伴い、林業就業者数の減少が懸念される中、林業の成長産業化を進めていくために必要な、機械化・ICT化に対応した高い生産性を有する人材の育成が急務。
- ②新規就業者の確保に向け、林業に関心を持ってもらえる機会が少ない。

【解決策】

- ①・研修計画を見直し、伐木等機械、走行集材機械、架線集材機械の特別教育やICTなど新たな技術に対応した研修を充実させる。
・一方で、民間の教習機関でも開催するなど研修所でのニーズが低い技能講習は縮小・廃止とし、より現場の実情に即したサービスの提供を行う。加えて、林業技術の習熟度に応じたスキルアップ研修を行う。
・また、現場で普及している機械での研修ができるよう、林業機械の計画的な更新を行うとともに、研修フィールドや講師の確保・養成に努める。
- ②・林業体験研修やHPコンテンツの増加など、林業の魅力を発信する研修・広報を充実させるとともに、林業団体等に対し施設活用についてのPR活動を一層強化する。